

平成 28 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	牛小屋高原公園施設		
所在地	山県郡安芸太田町横川		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	ケビン、オートキャンプ場、フリーサイト等		
指定管理者	4期目	H25.4.1～H30.3.31	(株) 恐羅漢
	3期目	H23.11.1～H25.3.31	(株) 恐羅漢
	2期目	H21.4.1～H23.10.31	三段峡観光(株)
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	三段峡観光(株)

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数 (有料施設)	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
		4期	29	2,000人	—	—
28			2,000人	3,506人	△ 470人	1,506人 (175.3%)
27			2,000人	3,976人	875人	1,976人 (198.8%)
26			2,000人	3,101人	193人	1,101人 (155.1%)
25			2,000人	2,908人	485人	908人 (145.4%)
3期		24	2,000人	2,423人	770人	423人 (121.2%)
		23	2,000人	1,653人	△1,097人	△347人 (82.7%)
		22	2,000人	2,750人	1,179人	750人 (137.5%)
2期		21	2,000人	1,571人	△ 360人	△429人 (78.6%)
		1期平均 18～20		—	1,931人	398人
17 (導入前)		—	—	1,533人	—	—
増減理由	ケビン、キャンプ場利用者は昨年度に比べ減少したが、目標は達成した。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	キャンプ場利用者 (回収数 58人)
	利用者から直接聞き取り	公園施設利用者 (回答人数は不明)
	【主な意見】	【その対応状況】
	魚釣りのイベントが楽しかった	好評なイベントは引き続き実施する

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務実績報告書
	日報 (必要随時)	— 緊急連絡を要する事例の発生なし
管理運営会議 (11月)	【特記事項等】 ・ 指定管理者連絡会議 ・ H27年度完了検査及び H28年度中間検査の実施 【指定管理者の意見】 ・ 施設等の改修要望 【県の対応】 ・ 施設等改修計画の説明 ・ 管理業務の履行状況を確認 (→適正)	
現地調査 (10月)		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	28	7,962		0	料金収入 (決算額)	4期	28
27			7,962	0	27	3,447			1,144
26			7,962	222	26	2,303			△ 153
25			7,740	△2,000	25	2,456			814
3期		24	9,740	0	3期	24		1,642	352
		23	8,770	0		23		0	△ 339
2期		23	970		2期	23		1,290	
		22	9,740	0		22		1,629	△ 144
		21	9,740	△7		21		1,773	400
1期平均 18～20		9,747	△929	1期平均 18～20		1,373		113	
17(導入前)		10,676	—	17(導入前)		1,260	—		

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		H28 決算額	H27 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	7,962	7,962	0	
		料金収入	3,085	3,447	△362	利用料金制(※1) 施設利用者減による
		その他収入	3,777	3,532	245	物販収入の増
		計(A)	14,824	14,941	△117	
	支出	人件費	4,200	4,277	△77	
		光熱水費	7,550	7,538	12	
		設備等保守点検費	408	317	91	
		清掃・警備費等	78	0	78	
		施設維持修繕費	337	209	128	修繕箇所を増
		事務局費	294	209	85	
その他		1,347	1,877	△530	物販費用の減	
計(B)	14,214	14,427	△213			
収支①(A-B)		610	514	96		
自主事業 (※2)	収入(C)	—	—	—		
	支出(D)	—	—	—		
	収支②(C-D)	—	—	—		
合計収支(①+②)		610	514	96		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体および指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績 ○業務の実施による, 県民サービスの向上	地元特産品(ふき味噌)を用いた「ピザ教室」などのイベントの実施やキャンプとバーベキューのセット利用の推進を実施し, サービス向上に努めた。	施設の設置目的に沿ったイベント等の取組を継続して実施した。
	○業務の実施による, 施設の利用促進	指定管理業務以外の隣接地の事業との連携(ジップラインアドベンチャー恐羅漢の利用料金のキャンプ場パック割引等)を, 引き続き周知し, 利用促進に努める。	隣接地における指定管理者の事業(ジップラインアドベンチャー)との連携などにより, 利用者を安定的に確保している。
	○施設の維持管理	設備等の点検・修繕に関しては, 必要に応じて適宜対応した。 安芸太田町設置の下水道の適切な利用のほか, ソーラーパネル運用や水質検査の再委託など, 関係者との連携により環境に配慮した維持管理に努めている。	修繕については, 安全面や利用者に支障を及ぼすものを最優先に実施しており, また周辺環境に配慮し, 適切な維持管理に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し ○効率的な業務運営	事業計画に基づき適正に職員を配置した。	職員を事業計画に基づき配置し, 適正に業務を実施した。
	○収支の適正	収支に関しては, 引き続き黒字を確保した。	平成24年度から黒字を継続しており, 委託料の範囲内で収支の適正化に努めている。
総括		観光協会との連携やホームページ, パンフレットによる広報活動により, 施設の知名度が上昇し, 秋季天候不良の中, 利用者数, 料金収入とも好調であった前年度からは減となったものの, 一昨年度以前の実績を上回った。 引き続き, テレビやホームページ等を活用して利用者の増加を図る。	イベントの実施や広報活動, 周辺施設(ジップラインアドベンチャー)からの呼び込みにより, 施設全体の目標を達成した。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (平成29年度)	利用者に好評なイベントを引き続き実施するとともに新規のイベントを企画し, 更なるリピーターの獲得を目指す。	施設の利用促進につながるように, 企画提案や広報等の支援・協力をを行う。
中期的な対応	収益に関わる施設が老朽化しているため, 計画的な修繕が必要である。	改修が必要な施設について, 指定管理者と協議を行い, 優先度の高い施設から修繕を行う。